

平成29年度 第1回校内研
「社会科」 授業のデザイン

授業者： 西本 仰

1 日 時 平成29年 6月6日(火) 第5時間目

2 学 級 2年3組

3 題 材 (単元) 開国と不平等条約

4 本時の授業

(1) 目標 ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ、条約の内容を理解する。

(2) 流れ

生徒の学習活動と主な意識の流れ	支援 (◇) と見取りの姿 (◎)
<p>① 本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">江戸幕府はどのように開国し、欧米とどのような関係を結んだのでしょうか。</div> <p>②基礎の課題</p> <p>アメリカが開国を要求した理由を教科書本文や資料集を参考に考えさせ発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米和親条約が結ばれた課程の説明を聞く。 <p>③ジャンプの課題</p> <p>教科書や資料集の資料(条文)を参考にして、日米修好通商条約の内容をまとめさせ、気づいたことを発表する。</p> <p>④まとめ</p> <p>日米修好通商条約は、日本に関税自主権がないことと、アメリカの領事裁判権を認めたことが、日本にとって不利な内容だったことを理解する。</p>	<p>◇机間巡視をして声かけをする。 ◎教科書や資料集を参考にして、ワークシートに取り組んでいるか。</p> <p>◇資料の意味を補説する。 ◎グループで確認する中で、条文の内容をしっかりと理解できているか。 ◎日本にとって不平等な内容である点に気づいているか。</p>

(3) 「学び合い」をどこでどう生かし深めていくか

- ・資料の内容をしっかりと調べ、理解しようとしているか。
- ・一人ひとりが主役となって話し合いに参加しているか。